

「朝、地震が起きたら」

今朝、避難訓練を行った。前回は休み時間の大きな地震が発生したという設定で実施したが、今回は朝の登校時に発生したという設定である。発生時刻は8時23分、朝の学活が始まる時刻の2分前。教員は15分からの打ち合わせが終わり、担任またはその日の朝学活担当者が教室に向かっている頃である。生徒の多くは登校しており、自分の教室に入っている生徒もいれば、廊下で友達と話している生徒もいる。そして、教室に向かって歩いている生徒、校門を通過したばかりの生徒。

地震が発生したら、まず身を守ること。周りに危険な物がないかを確認し、身を低くして、地震がおさまるのを待つ。訓練では放送の指示で、教室や廊下で机の下や身を低くして静かに待つ生徒の姿が見られた。ガラスの近くや電灯の下にいるのは避けよう。もちろん新しい校舎であり、十分な安全性が確保されているとはいえ、絶対大丈夫とはいえない。訓練だからか、不安になって動く生徒はいなかったが、動くのも危険である。地震がおさまっても、校内の安全が確認されるまで、指示があるまで動かないこと。教員が教室や廊下等を確認し、その情報を内線電話で職員室に報告、副校長か校長が集約し、安全かどうかを判断する。この時間だから、火を使っているのは給食調理室。ここの確認も必要だ。火災につながる状態であれば校庭に避難することも考えられる。今日は雨天だったので、そこまでの訓練は行わなかった。教室で人員を確認し、避難訓練を終えた。

地震はいつ発生するか分からない。学校生活では教室にいることが多いが、必ずしも教室にいるときに発生するとは限らない。今回や前回の訓練のようにいろいろな場面が考えられるし、私たちが学校行事などを行っている場面に地震が起こるかも知れない。すべての場面でマニュアルが考えられているわけではない。地震の時の基本を押さえたうえで、臨機応変な行動が求められる。まず、自分自身の身を守る行動をとる。周囲を確認し、落ち着いて行動する。静かに待ち、放送や先生の指示に従う。あわてない。かつてな行動は、パニックを引き起こし、別の危険が発生する。地震の時こそ、冷静な行動と判断が求められる。

12月22日 校長 鈴木 幸雄

◆問題 1から200までの整数の中に、ある整数の倍数が13個あります。この整数はいくつでしょうか。また、この13個の数の和を求めなさい。